２ 取組状況調査（小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校）

別－２

（単位：%）

Ⅰ．いじめの防止等への取組について

設問	設問内容	回答項目	H30年度 小学校（354校）	H30年度 中学校（154校）	H30年度 高校（67校）	H30年度 特支（18校）	R元年度 小学校（350校）	R元年度 中学校（153校）	R元年度 高校（67校）	R元年度 特支（18校）	増減 小学校	増減 中学校	増減 高校	増減 特支
1	児童生徒に対し、「三重県いじめ防止条例」の内容について、周知・啓発を行った		100.0	100.0	100.0	100.0	98.3	98.7	100.0	100.0	▲ 1.7	▲ 1.3	0.0	0.0
2	保護者に対し、「三重県いじめ防止条例」の内容について、周知・啓発を行った		99.2	100.0	91.0	83.3	98.0	99.3	91.0	72.2	▲ 1.2	▲ 0.7	0.0	▲ 11.1
3	いじめの積極的な認知や、いじめの定義を限定して解釈しない事等いじめの正確な認知について、教職員間での共通理解が図られている		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	策定した「いじめ防止基本方針」が、全職員に共有が図られている		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	いじめの問題への取組について、策定した「いじめ防止基本方針」に基づき、学校全体での組織的な取組がなされている		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	いじめの問題への取組について、「いじめ防止等の対策のための組織」を活用した取組がなされている		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	策定した「いじめ防止基本方針」について、平成30年度の状況をふまえて、より適切なものとなるよう確認や検討を行った		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	「いじめ防止基本方針」を定める際、保護者や地域住民等の協力を得るように努めている		97.2	98.1	95.5	88.9	98.0	98.7	95.5	83.3	0.8	0.6	0.0	▲ 5.6
9	策定した「いじめ防止基本方針」をホームページ上で公開する等、保護者や地域住民等に対して、いじめの防止等の取組について理解と協力を得るよう努めている		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10	インターネットを通じたいじめを含め、いじめの防止等の重要性について、保護者に対して必要な啓発を行っている		99.2	98.7	100.0	100.0	100.0	99.3	100.0	94.4	0.8	0.6	0.0	▲ 5.6
11	策定した「いじめ防止基本方針」に基づく取組の実施状況を学校評価の評価項目に位置づけ、達成状況についての評価を行った（行う予定）		98.0	97.4	100.0	100.0	98.9	99.3	100.0	100.0	0.9	1.9	0.0	0.0
12	平成30年度中に、いじめの問題に関する校内研修を実施した（複数回答可）	1．いじめの問題に特化して実施	25.4	27.3	25.4	41.2	22.3	24.2	23.9	16.7	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 1.5	▲ 24.5
		2．生徒指導等の研修として、いじめの問題にも触れて実施	83.3	81.8	79.1	64.7	83.7	90.2	82.1	94.4	0.4	8.4	3.0	29.7
		3．実施していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13	平成30年度中に、児童生徒の居場所づくり・絆づくりに関わる取組等を実施しており、かつ、児童生徒の実態把握（Q-U等）に基づく検証を行った						86.3	89.5	74.6	66.7				
14	平成30年度中に、情報モラル教育を行った		96.3	98.7	100.0	100.0	98.6	99.3	100.0	100.0	2.3	0.6	0.0	0.0
15	平成30年度中に、児童生徒が主体的・自主的にいじめの問題について考え、議論する活動を実施し、かつ、児童生徒のの実態把握に基づく取組の検証を行った						92.0	92.8	74.6	72.2				
16	児童生徒の日頃の行動や態度などについて、学級内・学年内にとどまらず、職員会議等の場で情報の共有化が図られている	1．毎日	29.9	50.6	19.4	50.0	29.1	47.7	23.8	55.5	▲ 0.8	▲ 2.9	4.4	5.5
		2．週に1～3回程度	25.2	40.3	13.4	5.6	27.4	42.5	6.0	5.6	2.2	2.2	▲ 7.4	0.0
		3．月に2～3回程度	31.6	6.5	16.4	11.1	25.9	6.5	22.4	11.1	▲ 5.7	0.0	6.0	0.0
		4．月に1回程度	13.3	2.6	44.8	22.2	17.6	3.3	44.8	16.7	4.3	0.7	0.0	▲ 5.5
		5．上記以外	0.0	0.0	6.0	11.1	0.0	0.0	3.0	11.1	0.0	0.0	▲ 3.0	0.0
17	指導上配慮を要する児童生徒の進級、進学又は転学等に際して、学級担任等の教員間での引き継ぎを適切に行っている	1．指導記録等の資料を用いて引継ぎを行っている	90.1	85.7	76.1	100.0	91.4	86.9	76.1	94.4	1.3	1.2	0.0	▲ 5.6
		2．指導記録等の資料は用いずに口頭により引継ぎを行っている	9.9	14.3	23.9	0.0	8.6	13.1	23.9	5.6	▲ 1.3	▲ 1.2	0.0	5.6
		3．教員間の引継ぎは行っていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

Ⅱ．いじめの実態把握に関するアンケート調査について

設問	設問内容	回答項目	H30年度 小学校（354校）	H30年度 中学校（154校）	H30年度 高校（67校）	H30年度 特支（18校）	R元年度 小学校（350校）	R元年度 中学校（153校）	R元年度 高校（67校）	R元年度 特支（18校）	増減 小学校	増減 中学校	増減 高校	増減 特支
18	平成30年度中に、いじめを早期に発見し迅速に全児童生徒を対象とした、いじめの実態把握に関するアンケート調査を行った		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18－②	平成30年度は、どの程度の頻度で、いじめの実態把握に関するアンケート調査を実施したか	1．年1回～2回　（年1回）	22.7	14.3	38.8	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0				
		2．年3回以上　（年2～3回）	77.3	85.7	61.2	52.9	90.0	83.0	92.5	100.0				
		（年4回以上）					10.0	17.0	7.5	0.0				
18－③	上記のアンケート調査は記名式か、無記名式か（複数回答可）	1．記名式	73.2	73.4	35.8	29.4	71.4	65.4	41.8	11.1	▲ 1.8	▲ 8.0	6.0	▲ 18.3
		2．無記名式	26.3	39.6	35.8	64.7	22.3	39.9	31.3	66.7	▲ 4.0	0.3	▲ 4.5	2.0
		3．選択式	18.9	18.8	43.3	35.3	5.7	5.9	46.3	44.4	▲ 13.2	▲ 12.9	3.0	9.1

（単位：%）

Ⅲ．認知したいじめについて

設問	設問内容		回答項目	H30年度 小学校（354校）	H30年度 中学校（154校）	H30年度 高校（67校）	H30年度 特支（18校）	R元年度 小学校（350校）	R元年度 中学校（153校）	R元年度 高校（67校）	R元年度 特支（18校）	増減 小学校	増減 中学校	増減 高校	増減 特支
19	認知したいじめについて、速やかに保護者に連絡しているか	ア）いじめた児童生徒	ⅰ）主に家庭訪問・面会により保護者に連絡している	95.8	99.4	74.6	94.4	93.7	96.7	82.1	94.4	▲ 2.1	▲ 2.7	7.5	0.0
			ⅱ）主に電話等により保護者に連絡している	4.2	0.6	25.4	5.6	6.3	3.3	17.9	5.6	2.1	2.7	▲ 7.5	0.0
			ⅲ）把握後すみやかには連絡していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		イ）いじめられた児童生徒	ⅰ）主に家庭訪問・面会により保護者に連絡している	98.3	100.0	76.1	100.0	95.4	97.4	85.1	94.4	▲ 2.9	▲ 2.6	9.0	▲ 5.6
			ⅱ）主に電話等により保護者に連絡している	1.7	0.0	23.9	0.0	4.6	2.6	14.9	5.6	2.9	2.6	▲ 9.0	5.6
			ⅲ）把握後すみやかには連絡していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20	認知したいじめについて、速やかに教育委員会に報告しているか		1．すべて速やかに報告している	70.3	84.4	58.2	77.8	72.3	75.8	62.7	77.8	2.0	▲ 8.6	4.5	0.0
			2．必要に応じて速やかに連絡している	29.7	15.6	41.8	22.2	27.7	24.2	37.3	22.2	▲ 2.0	8.6	▲ 4.5	0.0
			3．速やかには報告していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

Ⅳ．警察との連携について

設問	設問内容		回答項目	H30年度 小学校（354校）	H30年度 中学校（154校）	H30年度 高校（67校）	H30年度 特支（18校）	R元年度 小学校（350校）	R元年度 中学校（153校）	R元年度 高校（67校）	R元年度 特支（18校）	増減 小学校	増減 中学校	増減 高校	増減 特支
21	犯罪行為の可能性がある場合には、早期に警察に相談または通報し、その協力を得て対応することとしているか		1．暴力行為をはじめ犯罪の可能性のあるものはすべて相談または通報する	70.6	73.4	58.2	72.2	78.3	64.7	61.2	72.2	7.7	▲ 8.7	3.0	0.0
			2．犯罪の可能性のあるもののうち、特に重篤と考えるものに限定して相談または通報する	29.4	26.6	41.8	27.8	21.7	35.3	38.8	27.8	▲ 7.7	8.7	▲ 3.0	0.0
			3．特に相談または通報しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
22	平成30年度中に、学校警察連絡協議会に参加した			80.5	93.5	100.0	83.3	84.0	92.2	100.0	72.2	3.5	▲ 1.3	0.0	▲ 11.1
22－②	誰が参加したか	学校の構成員（複数回答可）	ⅰ）校長	61.8	52.8	100.0	100.0	59.9	56.0	64.2	38.5	▲ 1.9	3.2	▲ 35.8	▲ 61.5
			ⅱ）教頭等	45.6	43.1	0.0	0.0	40.8	38.3	1.5	7.7	▲ 4.8	▲ 4.8	1.5	7.7
			ⅲ）生徒指導担当教員	78.6	86.8	100.0	100.0	78.9	82.3	100.0	92.3	0.3	▲ 4.5	0.0	▲ 7.7
		警察の構成員（複数回答可）	ⅰ）警察署長	4.6	0.7	0.0	0.0								
			ⅱ）生活安全課長等	77.5	83.3	100.0	100.0								
			ⅲ）少年係長等	59.6	66.0	100.0	100.0								
		開催回数	ⅰ）年に1回	11.2	5.6	0.0	0.0								
			ⅱ）年に2～5回程度	59.6	49.3	29.9	21.4								
			ⅲ）年に6～11回程度	15.4	27.1	70.1	78.6								
			ⅳ）月に1回以上	13.7	18.1	0.0	0.0								